

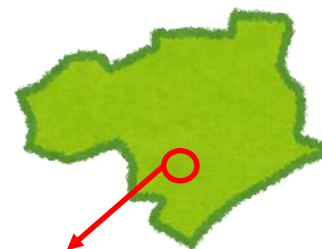
取組の概要

取組の概要 : 果樹産地の競争力強化
 計画策定主体 : 那賀町地域農業再生協議会
 対象品目 : 果樹 (ゆず・すだち・ゆこう)
 主な取組主体 : 阿南農業協同組合
 成果目標 : 販売額(総販売額)の10%以上の増加
 助成金の活用 : 基金事業 (うち整備事業)
 状況 (農産物処理加工施設)

ポイント

- 県版HACCPに対応した施設として機能増強を行うことで、実需者のニーズに対応した供給体制を確立する。
- 搾汁効率を高め急速冷凍することで品質向上を図り、有利販売に努めることで加工処理量の増加を図り、栽培面積や生産量を拡大する。

地区の概要



徳島県 那賀町

産地の現状と目標

〈現状：平成27年度〉

作付面積：ゆず 150.0ha
 すだち 12.4ha
 ゆこう 1.9ha
 計 164.3ha
 販売額：119,083千円

〈目標：平成30年度〉

作付面積：ゆず 156.0ha
 すだち 12.4ha
 ゆこう 1.9ha
 計 170.3ha
 販売額：132,351千円



推進体制

地域の関係者(那賀町、阿南農業協同組合、阿南農業支援センター、農業関係者等)が一体となって事業推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 新植や改植により園地の若返りを図ることで生産性・品質を向上。
- 省力化等の技術の普及、労働力の補完体制の整備等による経営の安定化。
- 労働補完組織の育成等、サポート体制の整備。

事業効果

○加工処理施設の機能強化を図ることで、生産効率や品質の向上により実需者ニーズへの対応が可能となり、競争力のある販売体制が整備され、産地の生産拡大や収益の向上が期待される。

～加工品の販売額～

